

\\ 経理部門の業務を効率化 //

RPA 活用事例



- 01 RPAとは
- 02 RPAで自動化できる経理業務
- 03 RPA導入事例
- 04 RPA導入のポイント
- 05 RoboTANGOのご紹介

Robotic Process Automation

RPA = ロボットによるプロセスの自動化

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは、「ロボットによるプロセスの自動化」を意味し、「**定型的かつ反復的なパソコン業務を自動化できるソフトウェアロボット**」のことを指します。

自動化したい作業手順をRPAロボットに記録しておけば、人が操作するのと同じ様に自動で実行してくれる仕組みになっています。

近年、多くの企業が「DX推進」に取り組みはじめており、人的リソースの削減や業務効率・生産性向上に寄与できるRPAは特に注目を浴びています。



×



ロボットに毎月・毎週・毎日の「**作業**」をさせることで、人間はより知的でクリエイティブな「**仕事**」へ注力することが可能に。



人件費の膨張を抑える

RPAを活用することで作業ボリュームが増えても、今と同じ人員数で業務が運用できる。繰り返し作業に割く時間をおさえられるため、余計な人件費の削減にもつながる。

01



業務効率化

日次・週次・月次のルーチン作業をRPAに行わせることで、業務スピード向上による生産性が高まるだけでなく人間はより付加価値の高い業務に時間を割けるようになる。

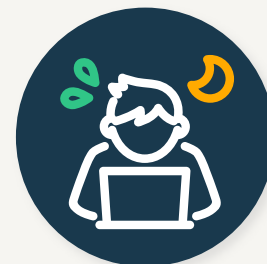
02



人的ミスの削減

繰り返しの多い単純作業こそ「ケアレスミス」が付き物。RPAに作業させることで、入力ミスや配信ミスが削減できるだけでなく、修正の時間も減らすことができる。

03



残業時間の削減

月末や月初など決まったタイミングで残業が多い職種が、日々の集計・日々の報告業務を、RPAを活用することで、繁忙期の、残業時間の削減が見込める。更に従業員のストレス軽減にも貢献。

04



教育コストの圧縮

人員増加に伴う採用も、業務を教えることも、時間・コストがかかること。業務をRPA運用にすることで、採用や教育コストを削減。社員の異動や離職により業務が滞る心配も不要。

05



工数がかかる作業（本来はやったほうがいいこと）

本来はやったほうがいいことも、目の前の業務により後回しにされることも。工数がかかることを理由に細かく実施ができていない作業を、RPAは休日・深夜問わず毎日飽きずに実行。

06

組み合わせでパソコン上の業務を自動化

1 データ入力

ExcelやCSVのデータを
社内システムやWEBに入力を行う



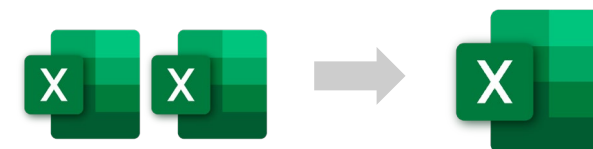
2 データ集計

WEB上の数字やテキスト情報を
Excelにコピーしたり集計を行う



3 データ加工

複数のファイルから一つに取りまとめたり、
違う表に加工・編集を行う



4 メール作成・送付

作成したファイルを
メールに添付し指定宛先に送付を行う



5 ファイル保存処理

ダウンロードしたファイルを
名前や日付をつけて指定のフォルダに保存する



6 通知

作業前・作業後に
メールやチャットで通知する



パソコン上で表示ができるソフトウェア・アプリケーションは**すべて操作が可能です**

01

定型業務が多い

経理業務には、月次決算、請求書処理、支払い処理、データ入力など、ルールや手順が決まった繰り返しの高い業務プロセスが多く含まれます。RPAは、ルールベースの処理を実行するソフトであるため、定型的な経理業務を自動化し、効率的かつ迅速に処理することが実現できます。月末月初などに集中する業務も簡単に解決することができます。

02

高精度と正確性が重要

経理業務にはデータを正確に処理することが重要です。RPAは正確かつ高精度なデータ処理が可能で、手作業によるデータ入力や計算のミスを防ぐことができます。RPAを活用することで、高品質なデータを提供することが可能になります。

03

複数のアプリケーション・ を横断する業務が多い

経理業務では、「会計ソフト」をはじめ「経費精算ソフト」「給与計算ソフト」「交通費精算ソフト」「帳票発行ソフト」などさまざまなアプリケーションを利用します。ただし、APIなどの連携システムが用意されていないことも多く、手作業での転記作業が多く発生します。RPAなら複数のアプリケーションを横断して作業を自動化することが可能です。

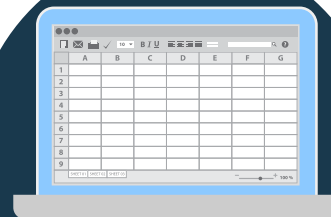
経理業務とRPAは相性が良い

- 01 RPAとは
- 02 RPAで自動化できる経理業務
- 03 RPA導入事例
- 04 RPA導入のポイント
- 05 RoboTANGOのご紹介

経理業務はマニュアル化された業務や、定期的に発生する業務が多く、月末月初など一定時期に大きく負荷がかかったりする場合が多いので、RPAの活用には向いています。



帳票の作成



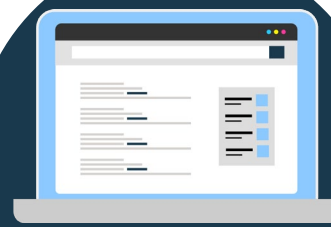
伝票のデータ入力



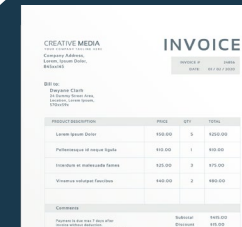
交通費精算の処理



入金の消込



社内基幹システムへの入力



インボイス対応準備

取引や資産、負債などが発生した際に必ず必要な帳票。多くの帳票作成業務は負担が大きく、ミスがないよう処理することは困難です。
RPAを活用し、帳票作成を自動化することでヒューマンエラーのチェックや修正など工数の削減につなげることが可能です。

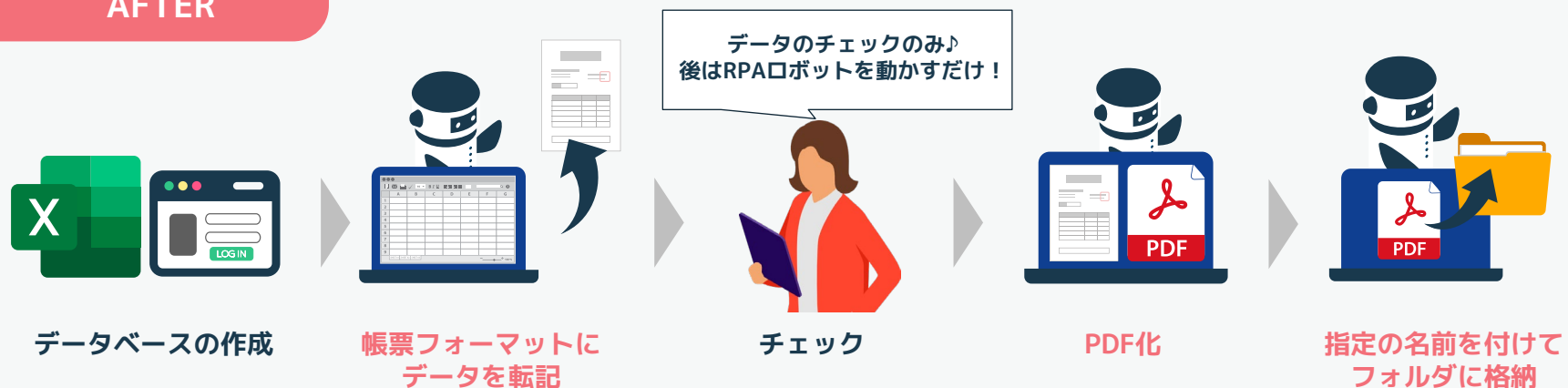
BEFORE



導入前の課題

- ✗ 入力が手作業のため、ミスが多い
- ✗ 転記作業に時間を取られて他作業に時間を割くことができない
- ✗ Wチェックに時間がかかる

AFTER



RPA導入後

- ✓ ロボが正確に処理するので正確に転記が可能
- ✓ Wチェックが簡素化され、確認・修正時間削減に

入出金や取引が発生した際に作成された伝票を、会計ソフト内の各帳簿に転記する作業は、OCRソフトとRPAを組み合わせることで、紙書類の処理も自動化できます。

BEFORE



導入前の課題

- ❌ 目視チェック・Wチェックで時間がかかる
- ❌ 入力が手作業のため、ミスが多い
- ❌ 紙伝票を見返したいときに探すのが大変

AFTER



AI-OCR・RPA導入後

- ✅ AI-OCRにより書類の文字起こしにかかる時間が短縮
- ✅ 正確に転記ができる
- ✅ データ入力作業のリソースがまるごと削減

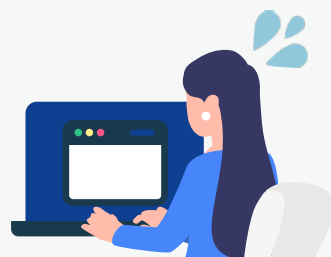
従業員の給与に影響するため、「ミスしないように…」とプレッシャーが膨大な交通費精算の処理。

RPAによって自動化し、プレッシャーから解放されスピーディーに処理を実行！

BEFORE



交通費精算の
申請受領



申請内容の確認



上長の承認



経費の仕分け、
会計ソフトへの入力



導入前の課題

- ✗ 各従業員の申請内容を1件ずつ確認する作業に時間がかかる
- ✗ 手作業で仕分け・入力をするためミスが多発

AFTER



交通費精算の
申請受領

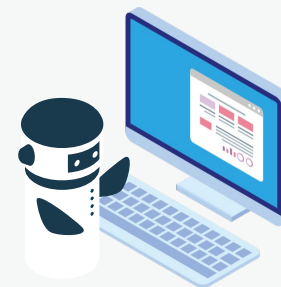
料金が異なる場合は
差戻し



交通費をWEB検索し
申請内容と照合



上長の承認



経費の仕分け、
会計ソフトへ入力

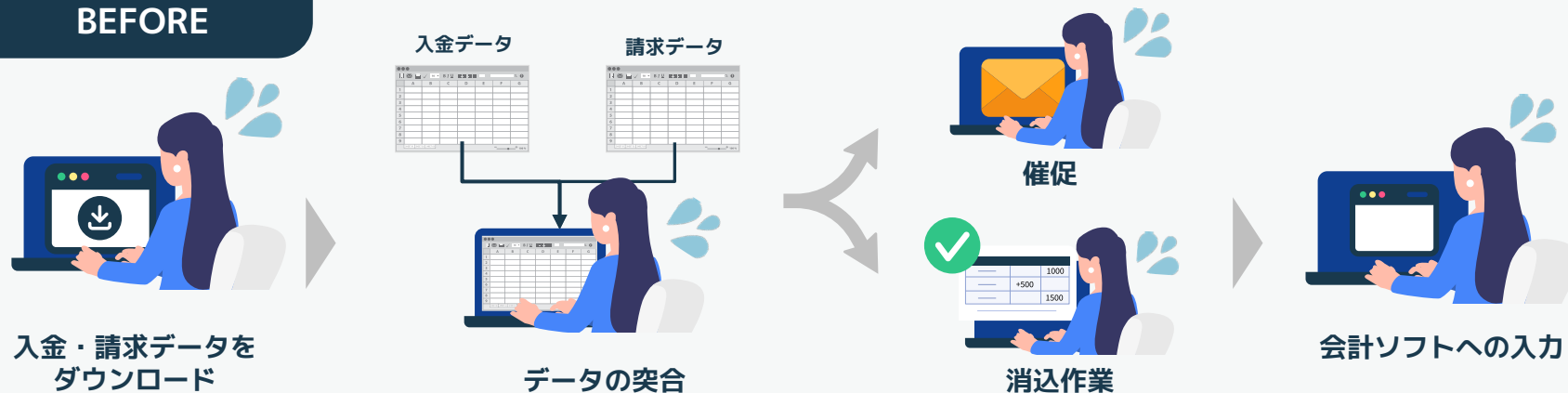


RPA導入後

- ✓ 承認作業以外をRPA化したことで効率化につながった
- ✓ 不正リスクがなくなった
- ✓ 経費の計算ミスを防ぎ、プレッシャーから解放

誤って入金の催促をしてしまう恐れや、未払いのままになってしまうと信用問題になりかねません。
RPAを活用することで、『人力』によるチェックを減らし、正確性をより向上できます。

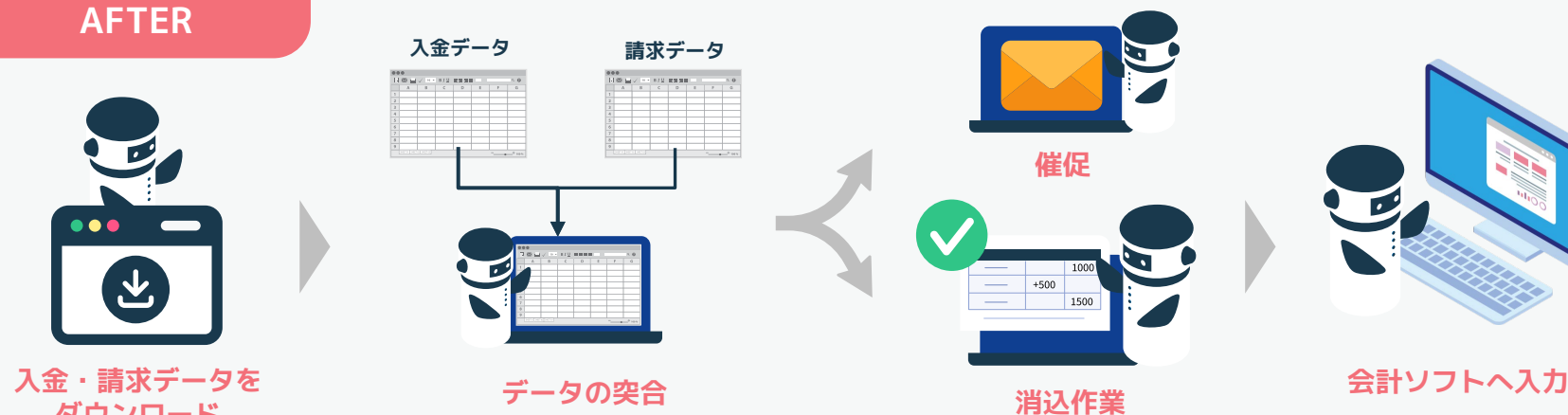
BEFORE



導入前の課題

- ✗ 正確性を求められる作業で精神的負担が大きい
- ✗ 様々なシステムを往復するため、手作業が煩雑

AFTER



RPA導入後

- ✓ ストレスになる催促メールも自動送信で負担軽減
- ✓ RPAによる正確な作業で信用を保つことができる

基幹システムから日次の売上データをダウンロードし、会計システムへデータを転記する作業。
経理部ではやることが盛り沢山なので、簡単な作業でも日々発生している業務は自動化しましょう！

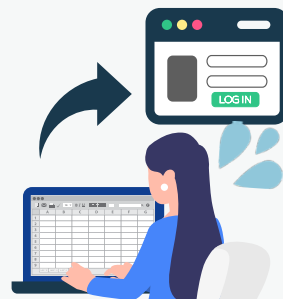
BEFORE



基幹システムから
売上データをダウンロード



ダウンロードした
ファイルを開く



会計システムへ
データ転記



Wチェック・修正
完了



導入前の課題

- ✗ 日々発生する作業なので毎日一定の時間を使用
- ✗ 他業務に追われて、作業が業後になってしまうことも
- ✗ 入力が手作業のため、ミスが多い

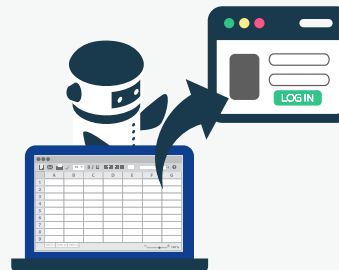
AFTER



基幹システムから
売上データをダウンロード



ダウンロードした
ファイルを開く



会計システムへ
データ転記

他の作業をロボが代行してくれる
からチェックだけでOK！



Wチェック・完了



AI-OCR・RPA導入後

- ✓ ダウンロードが完了するまでの待機時間がなくなる
- ✓ 日々の業務から解放されコア業務に専念できる
- ✓ ミスがないためWチェックが楽に

2023年10月からスタートするインボイス制度。

会計ソフトへの適格請求書発行事業者番号の登録作業を、RPAで自動化することで経理部門の負担を軽減できます。

BEFORE



取引先様の法人番号等
情報を洗い出し

〇〇株式会社 🔍
No.1234567



各取引先様の番号を
国税庁で検索し確認&登録



Wチェック



会計ソフトへ登録



導入前の課題

- ❌ 初めての作業なので
みんな混乱している
- ❌ 通常業務がありながら
作業を行うことが困難
- ❌ 膨大な件数で対応が難しい

AFTER



取引先様の法人番号等
情報を洗い出し

〇〇株式会社 🔍
No.1234567



各取引先様の番号を
国税庁で検索し確認&登録

RPAが正確に作業してくれるから
Wチェックも楽だわ♪



Wチェック



会計ソフトへ登録



AI-OCR・RPA導入後

- ✅ WEBでの検索作業もロボが正確に
情報を抽出
- ✅ 多くのリソースを割かずに
スタートまでに準備が完了
- ✅ 社員のストレス軽減

下記以外にも、業種・業界問わず経理業務では小さな業務から煩雑な業務まで、多くの自動化できる業務があります。
まずは業務を洗い出し、RPAによる自動化が可能かどうかを判断する必要があります。

メール配信・通知	反社チェック	請求書発行
Excelからの仕分入力業務	決済処理	SFA/CRMと社内システムの連携
入金データ取得	月次締め処理	報告書・レポート作成

定型業務を自動化し、業務効率化・人的リソース削減を実現



- 01 RPAとは
- 02 RPAで自動化できる経理業務
- 03 RPA導入事例
- 04 RPA導入のポイント
- 05 RoboTANGOのご紹介

毎月発生する経理業務をRPA導入で自動化。 2日かかっていた業務を2時間に短縮し、効率化を実現

愛媛県に本社を持ち、主にコットンや不織布の製造を行っている丸三産業株式会社（以下同社）。同社では、DXの推進、業務効率化を掲げ、その一環としてRPAの導入を進めていました。そして、複数のベンダーからトライアル期間を経て開発のしやすさやコストパフォーマンスの良さから、RoboTANGOを選択。経理業務を中心に日々発生する業務の自動化や、これまで2日はかかっていたグループ会社9社の月次試算表作成業務を2時間で完了させるなどし、空いた時間で生産性の高い業務に集中できるようになったとのことです。

BEFORE

- 日々発生する定型業務に追われ、生産性の高い業務へ取り組む時間が奪われていた
- DXや業務効率化が上手く進んでいなかった

AFTER

- 日々発生する業務を忘れることがなく、確実に実行できるようになった
- 月次試算表の作成時間が短縮され、迅速な経営判断が可能になった

毎日・毎月発生する定型業務

生産性の高い業務に取り組む時間がない



課題

- ✓ 業務効率化の実現
- ✓ DXの推進

必要な対策

- ✓ RPA導入
- ✓ 定型業務の精査

これまで2日かけていた
資料作成が2時間で完了！

現在50個程度のロボットを運用



ロボットが
自動作業

- ✓ 時間短縮・ミスの削減
- ✓ 精査や分析時間を多く取れる
- ✓ 生産性の高い業務に集中

RoboTANGO 選択の決め手は？

開発のしやすさ・サポート体制
コストパフォーマンスの良さ

- ▶ 開発の簡単さ・操作実行の正確さ
- ▶ トライアル期間に丸1日つきっきりでサポート
- ▶ 操作を実行したときのスピード感

さらに 他部署でも活路あり！

- ・社内全体で業務効率化を実現
- ・空いた時間で他部署のロボット開発

ロボットが増えて更に効率化UP♪

RPA導入による成果物

1. 丸2日かけていた作業がわずか2時間で完了するようになった
2. 空いた時間を分析などの業務に活用
3. 迅速な経営判断につながるようになった
4. 50個のロボを活用し、社内の効率化を実現

業務効率化施策の一つとしてRPAを導入 3年間で900時間の作業時間削減を目指し活用拡大を進める

「日本一現場を活性化させる支援部隊」をミッションとして掲げ、主にグループ会社7社の業務効率化支援を行っている、つばさホールディングス株式会社（以下同社）。同社では、グループ会社や自社の手作業が多い業務の効率化を進める対策を検討するなかで、RPAの導入を決意。いくつかの候補の中で、価格の安さやサポートが充実していることから、RoboTANGOを導入した。まずは毎日発生している定型業務やインボイス制度に対応するための準備作業にRPAを活用し、作業時間の削減を目指す。

BEFORE

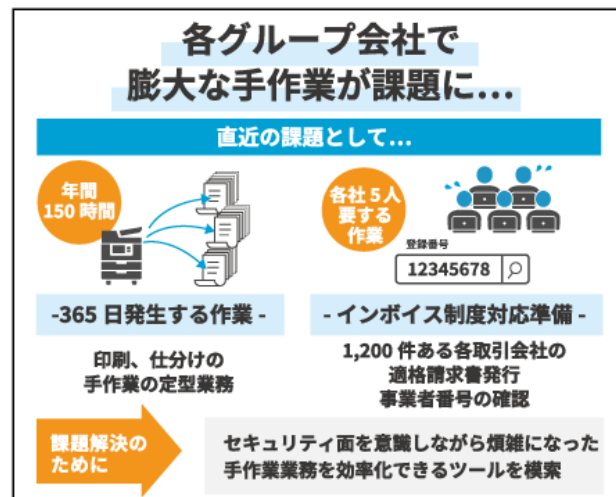
- 各グループ会社で手作業が多く、業務効率化が大きな課題となっていた
- ホールディングスの経理部門でインボイス制度に対応するための準備作業が急務となっていた

AFTER

- 365日30分～1時間ほどかかっていた印刷作業、その仕分けなどの定型業務を自動化し年間150時間の作業時間削減に
- 2023年10月に開始されるインボイス制度の準備作業にRoboTANGOを活用

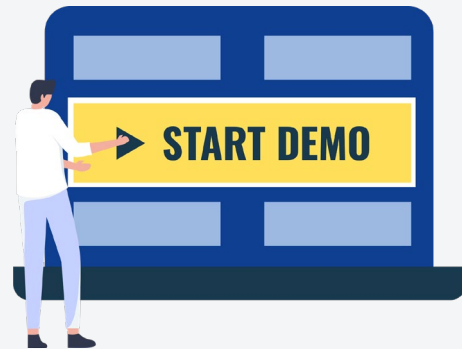
RPA導入による成果物

1. 365日発生する業務を自動化し、従業員負担の軽減
2. インボイス制度の準備対応をRPAで自動化し、スポット的な対応や今後の運用にRPAを活用し、人的リソースを確保
3. RPA導入によって年間150時間ほどの作業時間削減予定
4. 組織目標を企て、グループ会社7社分の業務効率化に活用していく





- 01 RPAとは
- 02 RPAで自動化できる経理業務
- 03 RPA導入事例
- 04 RPA導入のポイント
- 05 RoboTANGOのご紹介



POINT
01

無料トライアル



POINT
02

サポート体制



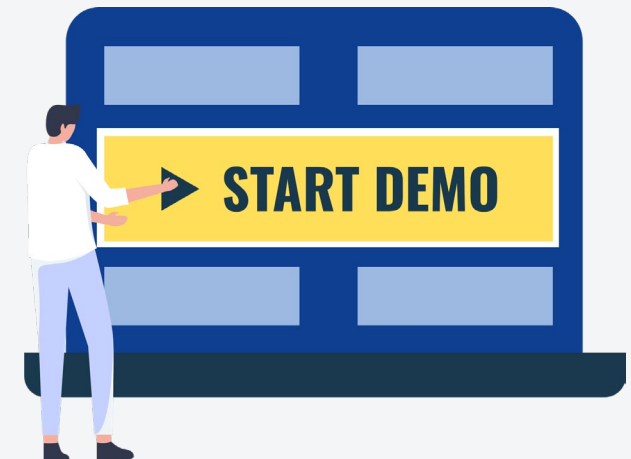
POINT
03

コスト面

POINT
01

無料トライアルで操作感・機能性を見る

- （ロボを内製化する場合）自社のリテラシーに合っているか
- 自動化したい業務が実現できるか
- 作成したロボを修正する際に自社で修正できそうか
- 連携したいシステムとの相性は良いか



POINT

02

サポート体制が十分かどうか

- トライアル時から問い合わせが可能か
- 導入後、初回操作レクチャーによるRPA作成フォローがあるか
- 導入後、使用方法による問い合わせは可能か
- ヘルプサイトや動画コンテンツ等、分からないポイントを調べる場があるか

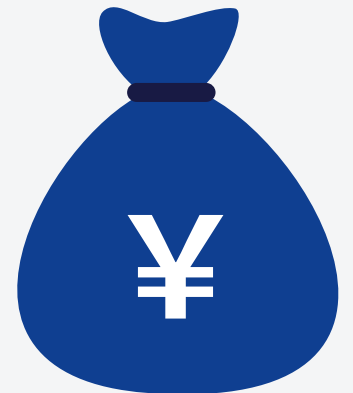


POINT

03

コストが自社に見合うかどうか

- 自社の予算にあった費用感か
- 費用対効果は得られるか
- RPAを学習するためのリソースやサポートコストは低そうか



- 01 RPAとは
- 02 RPAで自動化できる経理業務
- 03 RPA導入事例
- 04 RPA導入のポイント
- 05 RoboTANGOのご紹介

ロボタンゴ

RoboTANGO は、誰でも簡単に 作成・運用できる国産RPAソフト

ロボタンゴは現場フレンドリーなデスクトップ型RPAだから
初めてでも安心！低価格でスモールスタートが可能

フローティングライセンス

無料トライアル

オンプレミス

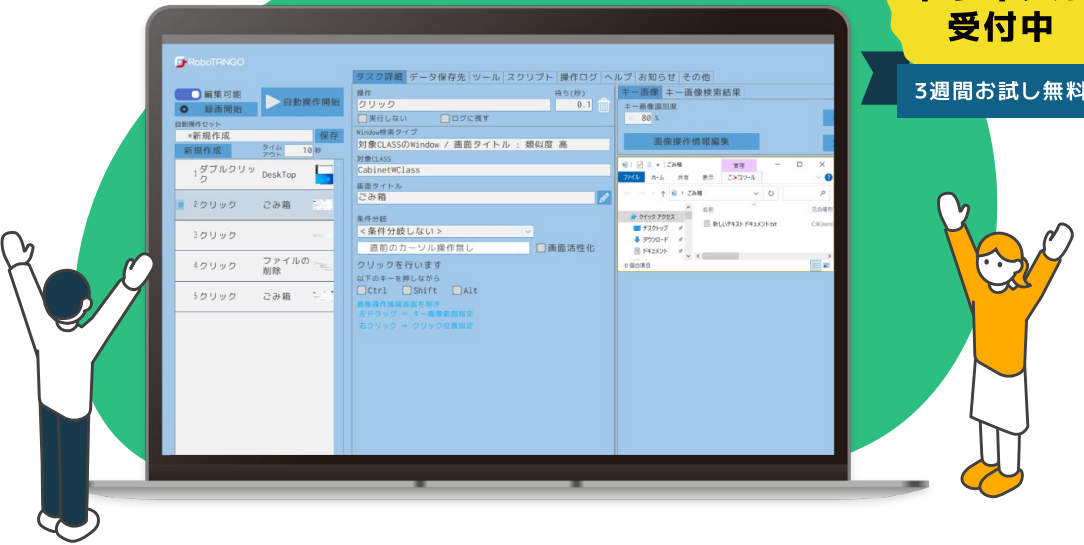
最短利用期間1ヵ月

初心者から使える

＼複数ユーザーで使える！／

無料
トライアル
受付中

3週間お試し無料

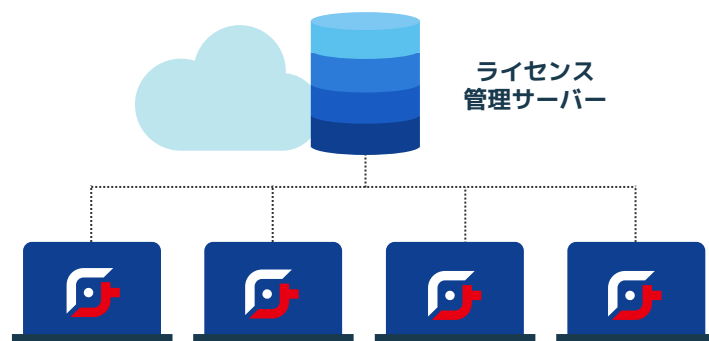


RoboTANGO導入におすすめの方

従業員規模	小規模～大規模	利用者	<ul style="list-style-type: none">・ 部門・グループ・ 担当者・ システム部門
主な業種	製造・メーカー、卸売、小売、BtoBサービス、BtoCサービス、医療・福祉、建設、運送・運輸、IT・通信、出版・印刷、不動産、飲食など		

FEATURE
01

フローティングライセンス 標準提供



- **1つのライセンスを、複数のPC端末でご利用可能です**
- ロボ作成や運用に関わるコストダウンを実現

FEATURE
02

録画機能+ ボタン で簡単記録



- 画面上の操作を**そのまま録画することができる録画機能**を活用して、**短時間でスムーズにロボを作成することができます**
- **プログラミングの知識や技術は不要です**

FEATURE
03

充実したサポート体制と 標準サポートを含む価格設定



- **ライセンス費用にお客様専用のヘルプデスクサイト提供を含みます**
- 有償サポート「導入支援サービス」では、お客様の利用状況に合わせた定着支援を実施



ITreview Grid Award 2023 Spring

RPA 3部門で LEADER 受賞

RPA部門「総合・中堅企業部門・中小企業部門」でLEADERを受賞しました！



とてもプログラムが作りやすい！



言語を組める職員がいない会社で導入しましたが、ものすごい作りやすいです。3拠点で毎日使用しています。
サポートも非常に充実していると感じます！

導入実績

RoboTANGO（ロボタンゴ）は、中小・中堅企業様を中心に、業種・業態・部門を問わず、多くの企業様にご導入いただいております。



RoboTANGOのお問い合わせはこちらから！
無料トライアルのお申し込みも可能です



お問い合わせ

お電話でのお問い合わせ先

 **0120-277-031**

営業受付時間 9:00～18:00（土日・祝祭日除く）

無料トライアル
（お試しデモ）

メールでのお問い合わせ先



Mail:info@reiworq.com

